

(案)

# 伊那市地方創生総合戦略

広域連携事業分 抜粋

平成 27 年 10 月 (第 1 次改訂)

伊 那 市

## (2) グローバル社会に対応した地域拠点整備 (移住・定住・交流の促進)

### ① 移住・定住の促進

- シティプロモーションにより、伊那市の魅力を発信し、UJI ターンや二地域居住を促進します。
- 移住・定住者の受け入れ環境の整備を推進します。
- 県、上伊那地域市町村、宅建業者等と連携しながら、楽園信州移住相談センター上伊那支部（仮称）の設置等により、移住・定住を促進するための仕組みを構築します。
- 民間の活力による住環境の整備を推進し、転入者の増加を図ります。

### ② 地域資源を活用・継承した観光振興

- 本市の有する2つのアルプス、タカトオコヒガンザクラ、パノラマ（眺望）などの地域資源の重要性を周知し、これらを継承していくとともに、これらの地域資源を活用した観光施策を推進することにより、交流人口を増やし、観光業の振興を図ります。
- 企業、大学、県、上伊那地域市町村等と連携し、統一デザインの活用などにより沿道景観をはじめとした地域の景観形成等を進めます。

### ③ 都市間交流の推進と国際性豊かな地域づくり

- 人と人のコミュニケーションを大切にしながら、都市圏の新宿区をはじめとする友好都市との交流により、魅力ある地域情報を発信し、交流促進及び定住人口増加を図るとともに、国際交流を通じ、多文化共生のまちづくりを推進します。

## (4) 都市機能のバックアップとリスク分散

### ① 産業の活性化による雇用の促進

- 地域資源を活用した新たな成長産業の育成や、既存企業の経営拡大・人材育成に対する支援を行うとともに、雇用機会拡大に向けた労働環境の整備を図ることで、地域で安定して働くことのできる環境を整えます。
- 企業、団体、県、上伊那地域市町村等と連携し、若者人材を確保（U I Jターン）する仕組みを構築します。

### ② 企業・研究機関等の誘致・集積の促進

- 伊那市の圧倒的な自然災害の少なさや優良な気象条件等の良好な立地条件や地域特性を活かし、従来の企業誘致に加え、企業の本社機能や研究機関、政府関連機関等の誘致を促進し、災害時のバックアップ機能を備えたものづくり集積地の実現を目指します。